

「プラモ道場」へようこそ 土佐模型クラブの皆さん

毎月1回みんなの都合の良い日曜日に「プラモ道場」を開いています。公民館に集まって作品を作ったり、できたものを持ち寄り情報交換したり。好きなジャンルも作品のテーマもさまざまなメンバーが集まります。

昔のキットを今の技術や道具を使って作るのが腕の見せ所です。飛行機や車など、見えない内部まで作り込むのがこだわりですね。

毎年5月に展示会も開いています。コロナ禍で3年ぶりの開催となった今年は1300人が来場しました。自由な集まりです。プラモデルが好きなら男女年齢問わず大歓迎です。

連絡先：090-2821-9100（中内）



弘岡上より

「睡眠の質を高めるメロン」いかが 山本 博志さん(53歳)

高知市本丁筋の「くだもの山長」の4代目です。高知大学の人材創出事業「土佐 FBC」で夜須町産のエメラルドメロンのGABA含有量を2年間研究しました。GABAは1日100mg摂取すると「睡眠の質（眠りの深さ、すっきりとした目覚）を高める」機能が報告されています。

当店で扱っている夜須町産のメロンの一部にGABAが豊富に含まれることを年間通して確認し、今年4月1日に全国初の“睡眠の質を高める”機能性表示食品メロン「やすらぐマスクメロン for Sleep」の届出を完了しました。また、メロンの食べごろがLINE通知される「食べごろガイド」も開発しました。

生産者が丹精込めて育てた果物の美味しさに加え、中にある良い成分を可視化することも私の仕事のひとつだと思っています。栽培のモチベーションにつながるとうれしいですね。



くだもの山長より

高知
地区

から こんにちわ
今月の〇〇 気になる人



くだもの山長
ホームページはここから

地域とともに学校づくり 校長 小川 真悟さん(57歳)

春野中学校に赴任して2年目です。町内の小学校・中学校の3校で「春野っ子を育てる会協議会」を立ち上げました。学校、家庭、地域が協働して子どもたちの成長を支える取り組みです。

地域の魅力ある文化や専門性を取り入れることで、元気な学校、元気な地域を作り上げたい。「一日先生」で地域の人を招いて伝統芸能や防災、職業についての授業を計画しています。チャレンジ精神を育み、経験を学校生活や将来につなげて欲しいと願っています。

愛校作業や安全パトロールなどにJA青壮年部の協力をいただいています。私の父もJA職員でした。JAには青壮年部活動や職業体験などで力を貸して欲しいと期待しています。

来年は孫とキュウリ栽培を 岡本 多恵さん

天気のいい日は野菜を採ったり、家や庭の掃除をしたり、近所の方々とお話をしたりして過ごしています。ナス・白瓜・カボチャ・トマト、お茶やスイカなど、いろいろなものを育てていて、できた野菜は家族で食べるほか、ご近所さんに配ったり、春の里にも出荷しています。

デイサービスでは、仲間とかるた取り・折り紙・指の体操をして楽しんでいます。孫が農業大学校に通っていて、来年卒業する予定です。卒業したら、一緒にハウスでキュウリの栽培の手伝いをしたいと思っています。



春野中学校より



春野町弘岡中より

できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



最優秀賞を受賞した小野さん④と優秀賞を受賞した石井さん⑤

1 高知地区 一人一研究発表会 小野浩之さん最優秀

県内JAの営農指導員で構成する高知県農協営農指導員会は6月24日、営農指導員の相互研鑽、資質向上を目的に令和4年度一人一研究発表会を高知市で開催しました。会場には約40人の営農指導員が参加したほか、WEB中継で県内の営農指導員らが視聴。県内4ブロックから選出された7人が日頃の業務成果や研究成果を発表し、高知地区の小野浩之さんが最優秀賞、高知地区の石井広晋さんが優秀賞を受賞しました。

小野さんは担当する品目ニラについて、部会員の反収向上・経営力向上・個別支援の取り組みを報告。自身の営農指導について、「まずは部会員一人一人に寄り添うことを大切に。そして個人の所得底上げを目指し、それが部会全体の所得底上げに繋がるように尽力している。」と語りました。

小野さんは高知県代表としてJA営農指導実践全国大会にかかる四国地区代表選考会に出場する予定です。



大会に向け花いけの練習をする学生

2 高知地区 花いけバトルに向けて 学生たち今年初めて練習会

JA高知県、県などで行われる高知県園芸品販売拡大協議会は6月12日、10月にある「全国高校生花いけバトル四国大会」および来年2月に開催される「高校生花いけバトル高知大会」に向け、練習会を行いました。花いけバトルに興味を持つ学生が県内5校より33人参加し、練習に励みました。

大会は同じ学校に通う高校生が2人1組でチームを組み、5分の制限時間内に即興で生け花を仕上げ、出来栄を競います。同協議会が会場にユリ、グロリオサ、ダリア、ブルースターなど40種類以上の花材を用意。高知県立岡豊高等学校の岡田菜々さんは、「器が上品だったので、青色の花を基調とし落ち着いた色合いの作品に仕上げることができた」と作品を振り返りました。

また、練習会に協力した花き生産者の高橋定章さんは「1人でも多く花を好きになってほしい」と期待しています。

第3期

男の料理教室開講！



参加者に指導する山崎さん④

JA高知県は6月21日、第3期「男の料理教室」をとさのさとアグリコレットで開きました。「旬の野菜・果物を使ったベジフルレッスン 世界の料理で旅気分」と題し、高知県産の食材を使って様々な国の料理を作ります。

野菜ソムリエプロの山崎優子さんが指導しました。第一回のテーマは「日本」で、参加者らは彩り鮮やかな具材で飾り付けるオープンになり寿司をメインに、計3品を調理。参加した原田秀一さんは、「今日作った料理をホームパーティーで家族に振る舞いたい」と話しました。

次回は7月26日に台湾料理の「簡単にできるルーロー飯」を作る予定です。

親子でサツマイモ定植&キュウリ収穫



親子に「船底植え」を教える石井営農指導員⑤

JA高知県は6月4日、高知市春野町で「親子あぐりスクール」を開きました。親子15組30人がサツマイモの定植やキュウリの収穫体験、直販所春の里での買い物や春野営農経済センター集出荷場の見学を行いました。

サツマイモの定植では、同JA営農指導員の石井広晋さんが「深く植えてしまうと水が行き渡らなくなるので、浅すぎず深すぎずに土を掘って」と「船底植え」のポイントを説明。また、同町西畑の矢野俊成さんのハウスで、親子は規格表を見ながらキュウリを収穫し、持ち帰りました。

次回は9月25日に、嶺北土佐町にて牛の家畜市場の見学を予定しています。

5 高知地区

JA共済連高知 昨年度優績LAを表彰



様々な部門で受賞した優績LAの方々

JA共済連高知は6月22日、「令和4年度 JA共済ライフアドバイザー研修大会」を高知市で開催しました。今年度のLA活動の取り組み事項についての説明や昨年度の優績LAへの表彰などを行いました。

昨年度の優績LA表彰では、述べ36人のLAが様々な部門で受賞。特にLAとしての活動・取り組みが優れ、他の範になるべき者かつ幅広い活動を展開した仁淀川地区共済普及課の戸梶利香課長が「総合優績LA」として表彰されました。戸梶課長は自身のLA活動について「全戸訪問は常に心掛け、組合員からの頼まれごとなどは些細なことであってもすぐ返答することを重視している」と語りました。

6 高知地区

牛乳・乳製品の消費拡大を！ 若手酪農家が知事を訪問



生産者と牛乳をPRする浜田知事（写真中央）

高知県酪農連合協議会青年部とJA高知県は6月16日、6月の「牛乳月間」に合わせ、高知県庁で県産牛乳や乳製品の消費拡大を呼び掛けました。

若手酪農家や職員ら6人が浜田省知事を訪問。同青年部の宮本智貴副部長は、「様々なメディアに流れることで、牛乳が人目に付くことを期待しています。水やお茶のように、気軽に牛乳を飲んでもらえるようになれば嬉しい」と話しました。また、青木厚林専務は酪農家へのサポートについて、「まずは集乳の体制基盤を守り、飼料高騰の影響等を緩和する対策の拡充をJAグループで国などに要請し、牛乳の安定生産の支援に努める」と語りました。

高知農業改良普及所より

農薬散布後の後片付けについて 今一度考えてみませんか？

中央西農業振興センター高知農業改良普及所

農薬の安全使用について、農林水産省では毎年水稻における農薬散布の多い6～8月を農薬危害防止運動期間としています。今回は、水質汚染防止対策と、農薬散布後の後片付けについてお話ししたいと思います。

1. 魚類へい死事例の実態

平成18～27年の10年間で県環境研究センターが行政調査依頼を受けた魚類へい死事故39件のうち農薬成分が検出された事例は22件ありました（高知環境研究センター所報2015より引用）。

また、河川での魚のへい死事故で魚毒性の高いトルフェンピラド（商品名：ハチハチ）が検出された事例が平成22年～30年で15事例ありました（高知衛生環境研究所報2020より引用）。

こういったことが地域で起きないようにするために、農薬散布後の廃液に残った薬液や器具の洗浄液等の後片付けには特に注意が必要です。

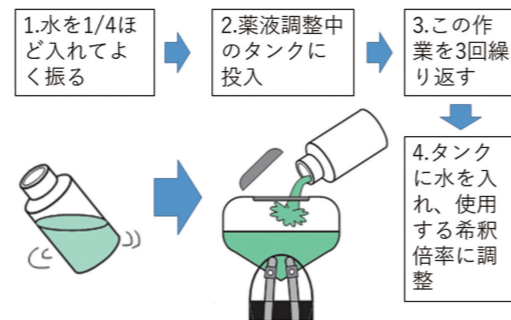
2. 農薬散布後の後片付けについてのポイント

散布液は使い切りましたか？

必要以上に薬液を調整せず、作った薬液はその日に使い切るのが原則です。散布後に薬液が残るような場合は散布ムラのあるところや対象病害虫が出やすい場所等へ追加散布するなどして、できるだけ場で使い切りましょう。

空容器に付いた農薬は除去しましたか？

- 袋状の容器は入っている粉を調整液にすべてはたき落としてから保管し、適切に廃棄しましょう。
- ボトル状の容器は、薬液を使い切った後に容器の1/4量の水を入れて密栓し、よく振ってから薬液調整中のタンクに中身を投入します。これを3回繰り返して容器を洗浄してから薬液を最終調整しましょう。3回繰り返すと付着した農薬成分の残量は10万分の1に減少するというデータもあります。洗浄後の容器は水を切ってからまとめて保管しておきましょう。



洗浄液は正しく処理しましたか？

- 機材、ホース、タンクなど農薬が接触した部分は、作業終了後速やかに洗浄しましょう。
- 洗浄液が、他作物が栽培されているほ場や河川、水路などに流れ込まないように配慮しましょう。
- 機材の洗浄が終わるまでは防除衣は着用したままで作業しましょう。

空容器は正しく廃棄しましたか？

- 使用した容器は別用途には使用しないようにしましょう。
- 保管した空容器はJAの農薬回収日に出しましょう。

農薬の適正使用と後片づけの励行は、農薬による事故や被害を防ぐのにとっても重要です。後片付けをきちんと行うことにより、廃液や洗浄液による魚のへい死事故やタンク等の洗浄不足による農薬残留基準オーバーなどの農薬事故を防ぎましょう。

◎問い合わせ先：中央西農業振興センター高知農業改良普及所
(TEL. 088-866-0711) (FAX. 088-861-0660)



鳥獣被害対策専門員からのお知らせ



春野・土佐市地区

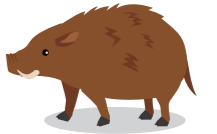
鳥獣被害対策専門員

かみじ 上地

かずひさ 和久

携帯電話:090-3189-0373

鳥獣被害に強い地域づくり



現在、県のサル被害対策のモデル事業が県下2地区で実施されています。その1地区においては94頭の群れが確認されており、香川県を除けば四国で最大規模の群れです。当初は50頭程度を想定していただけに、その結果を知るや参加者からは驚きの声が上がりました。

県のサル被害モデル事業とはいえ、ロケット花火やモデルガンを使用した追い払い、ワイヤーメッシュ柵と電気柵の複合柵の設置は、地区の代表者を中心とした住民が実施主体となっています。鳥獣被害防止対策コンサルタント会社や研究者、専門員はあくまでも住民のサポートを行っているに過ぎず、地域住民の合意形成なくして今後の事業継続は望めないでしょう。

以上のことから、イノシシやハクビシンの被害に関しましても集落が連携し、住民全員が一丸となって、地域を守る共助の被害対策が重要と考えられます。

専門員は被害の防除や軽減を図るため各種の研修へ積極的に参加し、被害状況の調査、わなによる捕獲の技術向上に励んでいます。調査等で圃場へ立ち入る場合がありますので、地域の皆様のご理解、ご協力をお願い致します。

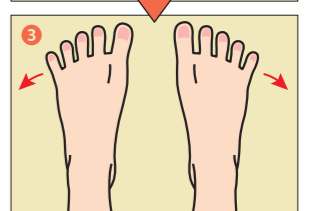
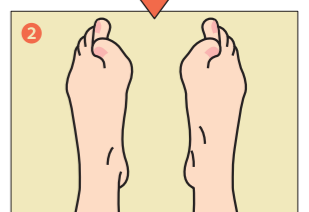
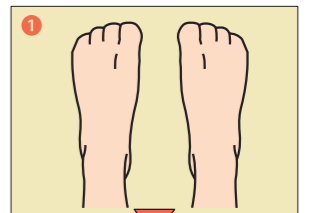


手軽に健康 手指体操

手足じゃんけん健康トレと 健康チェック その1

健康生活研究所所長
堤 喜久雄

足指でグーチョコキパーを出す



じゃんけんは、手指遊び、手指体操の原点です。手だけでなく、足でもグーチョコキパーを表現することで集中力アップ！楽しみながら全身運動にもなります。

まず手指と足指で別々にグーチョコキパーを出す練習をしましょう。手指のグーチョコキパーは慣れ親しんだ動きですが、繰り返すことで指の関節の動きの確認にもなり、また、動きが滑らかになります。

足指は図①～③を参照してください。手指の動きとは異なるので意外と難しいかもしれません。また、体を支える土台になる足の指が自由に動けるかのチェックにもなります。ゆっくりでよいのでしっかり曲げ伸ばしできるように練習しましょう。

最終的には手と足で1人じゃんけんができることを目指します。脳トレだけでなく、足裏の筋力アップ&ストレッチや、血行促進、足の冷え性の改善、むくみ解消、外反母趾（ぼし）の改善にも役立ちます。

基本の動き

- 椅子に座り、両足をそろえて指の関節をしっかり曲げます。手の握りこぶしのような見た目がグーです。
- チョコキは、親指だけを上に立て他の指はそろえて地面に着けた状態です。
- パーは、両足の幅を開けて5本の指先を広げます。指と指が等間隔に開くように意識します。

ポイント

「グー、チョコキ、パー」と声に出しながら行うとやりやすいです。

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

最近、よく春の里に行っています。田舎で育っていたせいもあり、農家の方々が作っている物が買えることはすごく安心します。

(高知市神田 61歳)

▼直販所「春の里」をご利用いただき、ありがとうございます。地元」のものは身近に感じて安心できますよね。新鮮な野菜、鮮魚や花き、直販部員の皆さんが作ったお弁当やお総菜を、これからもよろしくお願いします。

今月号の特集、牛乳のすべてを見せていただきました。わかりやすくとても良かったです。

(高知市大津甲 73歳)

▼6月号の特集記事について、ご感想をありがとうございます。毎月の目玉といえる特集は、広報担当が現地に足を運び、取材しています。読んでいただいている方が、見ても読んでも楽しめるような広報誌づくりをこれからも心掛けます。

牛乳は、普通に飲んだり、デザートを作るときに加えたりする程度でしたが、活用レシピを参考に色々作ってみたくて思いました。

(高知市幸町 55歳)

▼6月号では、「牛乳月間」にちなみ、普段の食事にも取り入れやすい牛乳を使ったレシピを4品紹介しました。「牛乳活用レシピ」、ぜひ活用ください。

夏といえばスイカです。冷やしたスイカをお風呂あがりには食べるのは、最高です。

(高知市下島町 31歳)

▼お風呂あがりにはスイカを食べると気持ちいいですよ。熱中症予防の水分補給にも有効です。6月号のプレゼントは「ルナピエナスイカ」でした。当選された方、おめでとうございます！

うちんくの台所はいつも、身近な食材で素朴な味で作り易く参考になります。

(高知市上町 80歳)

▼とても多くの方々から「作ってみた」「参考になる」「おいしい」と、「うちんくの台所」についてのご意見をいただいています。「うちんくの台所」をいつもご利用いただき、ありがとうございます。

「まこうぐり」が届くようになって、地元のことを知り、野菜、花、地元のお店など、又、顔も見えて、ワクワクしつつ、行きたいと思えます。

(高知市一宮東町 74歳)

▼とてもうれしいご感想、ありがとうございます。「まこうぐり」が、読んでいただいている方々にとって、「地元を知る」きっかけになっていることは、私たちも大変うれしです。「まこうぐり」が地域の情報を農業から発信できるよう、広報担当一同、これからも頑張ります！

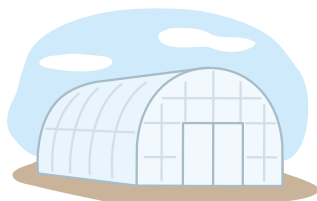
貸し出し可能な中古ハウスを登録しませんか？

新規就農者の確保・育成並びに農業振興の維持拡大を図ることを目的として、春野町新規就農者育成協議会が設立（令和4年5月）されました。町内の施設園芸用中古ハウスの情報収集や登録を行い、登録されたハウスについて借り手と貸し手のマッチングを主な目的としています。

中古ハウスの登録には、審査（一定の基準あり）が必要となりますが、登録されますと保安全管理料や、マッチング成約時には、貸し手に対し成約金が協議会より支払われます。現在、貸し出しが可能である施設園芸用中古ハウスや有休中のハウス等がありましたら、お気軽に下記までお問い合わせください。

お問い合わせ

春野町新規就農者育成協議会 事務局
春野営農経済センター 営農指導課
TEL 088-894-5660
担当：長崎・吉本



園芸用ハウス整備事業の募集について

施設園芸において規模拡大や中古ハウスの修繕費用について、国からの補助が出ます。

施設園芸において、新たなハウスを建設して規模拡大を考えている方や新規就農者（5年以内）の方、また中古ハウスなどを修繕し就農や規模拡大を考えている方。

お問い合わせ

春野町新規就農者育成協議会 事務局
春野営農経済センター 営農指導課
TEL 088-894-5660 担当：長崎・吉本

令和5年度 園芸用ハウス整備事業利用者募集

令和5年度の園芸用ハウス整備事業の利用者を募集しています。

ハウスの規模拡大や高度化、他の農業者からハウスを譲渡又は借りる場合に、そのハウスや付帯設備の改良に要する経費の一部に対し県と市町村から助成がある有利な事業です。

※基準（面積・実績・年齢制限等）による選考あり

申込締切日

令和4年8月31日（水）

お問い合わせ

春野営農経済センター 営農指導課
TEL 088-894-5660

担

当 佐保・吉本